

# 浪江町議会定例会 行政報告

平成30年浪江町議会12月定例会において、  
町長から町政の執行状況を報告しました。

※一部抜粋

## 「なみえ町民号」 震災後初の実施



11月8日、9日に1泊2日で、「なみえ町民号」を13年ぶりに実施しました。

昨年4月に再開したJR浪江駅から花巻駅等を専用貸切列車で往復し、志戸平温泉と世界遺産平泉中尊寺を巡り、参加された77人の町民の皆さんは、各々の近況などを語り合い、町民同士、また、町と町民の絆を深めることができました。

申立て手続の概要や無料の弁護士相談について、説明会を開催しました。また、「ふくしま原発損害賠償弁護士」との協定を11月5日に締結し、申立てに関する弁護士の支援を確保の上、継続的な相談会等の実施により、申立ての促進を図ってまいります。

## 復興まちづくり

## 雇用の場の創出・ 企業誘致の取組

10月25日、大阪に本社のある業務用洗剤等の製造を手掛ける静光産業株式会社と藤橋産業団地への立地協定を締結しました。

同社は、平成31年夏ごろの操業を目指しており、町としても立地向け、積極的にサポートしてまいります。引き続き、進出希望のある事業者の誘致に向け、話し合いを進めてまいります。

## 大学との 連携協定締結

10月23日に東京工業大学科学技術創成研究院において、協働提携に関する協定を締結しました。

協定では、浪江町の原子力災害からの復旧・復興の促進、地域振興および研究院の教育研究活動の促進等を目的としています。

この協定により、町の新しい産業創出となみえ創成小・中学校での特色ある理科教育などを通じて、人材育成に協力いただけるものと期待しています。

## 「いこいの村なみえ」 の利用状況



「福島いこいの村なみえ」については、6月に再オープンしてから約半年が経過しました。

利用状況については、町民の方のほか、町外団体の被災地視察や学生の研修などにも利用いただき、当初

の想定を上回る実績となっております。12月からは朝食の提供も行うなど、宿泊者の利便性向上に努めており、町としても「福島なみえ勤労福祉事業団」と連携・協力して、皆さまに親しまれる施設にしていきたいと考えています。

## 町内イベント事業



10月13日、「まるしえ2周年」「なみえ音楽祭」を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

また、11月24日、25日には、浪江町地域スポーツセンターにおいて「復興なみえ町十日市祭」と、震災後初となる大堀相馬焼協同組合による大堀相馬焼「大せとまつり」、日本野球機構による「ベースボールフェスタ」が同時開催され、2日間で3万7千人の方々にご来場いただきました。

引き続き、町民が集い、町民同士、町と町民の絆が深まるよう、町内イベントを関係団体と連携し、企画、実施してまいります。

## 町内の安全・安心

## 消防団秋季検閲式



10月14日、浪江町地域スポーツセンターにおいて、浪江町消防団秋季検閲式が開催されました。

検閲式には、114人の団員が集合し、功績章7人、精勤章16人の表彰や閲団・分列行進に臨み、改めて消防団の士気の高さを実感いたしました。

## 産業再興への取組

## 町内での 事業再開支援

11月末現在の町内での事業者数は、再開・新規合わせて、124事業所

となっております。

支援の取組については、10月24日に福島広域雇用促進支援協議会との共催により、地元雇用者確保のための「合同就職面接会」を開催し、28社の地元企業と54人の求職者の方に参加をいただきました。

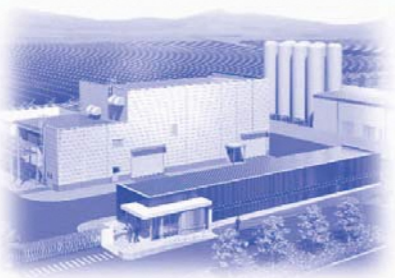
また、11月15日には、「福島イノベーション・コースト構想ふくしまみらいビジネス交流会」を開催し、町内で操業しているフォーアールエナジー株式会社や、進出を予定しているLEシステム株式会社などがプレゼンテーションを行い、100人を超える参加者とのビジネスマッチングの機会を創出しました。

さらに、11月28日には、地元事業者と大手企業のビジネスマッチングを目的とする「結いの場」を復興庁と標葉地区商工会広域連合協議会との共催により開催し、地元8社、支援企業25社に参加いただきました。今後も引き続き、関係機関と連携した事業再開支援に取り組んでまいります。

## プレミアム付 商品券

昨年度に引き続き実施しているプレミアム付商品券の販売実績は、11

## 大規模水素製造拠点 整備



国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）の「福島水素エネルギー研究フィールド」整備事業については、7月から順次、造成地の引渡しを行っており、プラント建設および太陽光パネル設置に着工し、順調に工事が進捗しています。

引き続き、計画どおりに事業用地を提供できるよう、着実に造成工事を進めてまいります。

## 秋の農業体験イベント



10月6日、酒田地区において、震災後5回目となる稲刈りが行われました。

地元農家の皆さまのほか、なみえ創成小学校の児童6人を始め、福島大学や首都圏の大学生48人が参加し、昔ながらの手刈りによる稲刈りを体験しました。

その後、「風評被害をなくすためには」をテーマに、参加した大学生と地元農家の皆さまとでワークショップを行い、学生の皆さんが浪江の農業のために、真剣な意見交換をしている姿に感銘を受けました。

また、参加された学生の自主的な取組として「浪江す米る（スマイル）プロジェクト」を立ち上げ、11月25日の復興なみえ町十日市祭で、自分たちで稲刈りをしたお米の販売を行い、来場者からは好評を得ました。

## 営農再開ビジョンの策定状況



これまでに、酒田、藤橋、西台、北棚塩、刈宿、加倉、幾世橋および川添の8地区において、ビジョンが策定されました。

現在は、立野、南棚塩、田尻、小野田、樋渡牛渡および高瀬の6地区において、年度内のビジョン策定に向けた座談会を実施しているところです。

ビジョン策定を通じて、収益性の高い農業への転換や法人化など、早期の面的な営農再開に向け支援してまいります。

## 国際フラワー&プランツEXPO 出展



このイベントは、生産者、メーカー、市場関係者、販売業者、デザ

イナーなど花き業界の多くの関係者が一堂に会する国内最大級の花の商談会であり、10月10日から12日にかけて幕張メッセ（千葉県）で開催されました。

浪江町からは花卉研究会の生産者7人が参加し、花きの一大産地を目指していることのPRを始め、生産者と業界関係者とのつながりを持つことを目的に出展をし、流通関係者を中心に多くの方々との交流をしました。

## 農地パトロール

農地利用最適化を推進するため、11月1日から12月4日にかけて避難指示が解除された地域において、農業委員および農地利用最適化推進委員による震災後初めてとなる農地パトロールが実施されました。

各地区の委員が現地を地図と照らし合わせ、営農している農地、保全管理がなされている農地、遊休農地などを確認することで、今後、農地の荒廃抑制や担い手への集積につなげていくこととなります。

## 水産業施設の整備状況



請戸地内に整備を進めている水産加工団地への第1期入居事業者として「有限会社柴栄水産」が内定し、4月から加工施設の建設工事を開始する予定となっています。

なお、当該加工団地の造成工事の10月末現在の進捗状況は49%となっています。

また、請戸漁港の水産業共同利用施設の10月末現在の進捗状況は、建築工事が33%、機械工事が17%、電気工事が0.07%となっています。

## 生活支援

### 応急仮設住宅

11月30日現在の仮設住宅の入居状況は、供与戸数418戸に対し、入

ど、成長がうかがえました。

### 子育て支援

今回で8回目となる「こどもの笑顔フォトコンテスト」受賞作品の表彰式を、10月16日に開催しました。

今年のコンテストには62作品の応募があり、その中から最優秀賞を含む15点の作品に各賞を授与いたしました。

役場本庁舎で行った表彰式には、受賞者の家族など7組に出席いただき、賞状と記念品を贈呈いたしました。

### 生涯学習

県内の市町村対抗大会として、9月に軟式野球大会、10月にソフトボール大会、11月には駅伝競走大会が開催されました。各競技とも選手が皆さんが各地に分散している困難な状況の中、町代表として力を発揮していただきました。

また、10月の各週にわたり、町長杯としてパークゴルフ、家庭婦人バレーボール、ゲートボール、グラウンドゴルフの各競技大会を開催しました。

## 町外の復興公営住宅



11月1日現在で1,514世帯、2,665人の入居が決定し、1,511世帯、2,661人が入居を開始しています。

また、平成30年度第4回定期募集では、募集戸数646戸に対し応募戸数72戸で、倍率は0.11倍となりました。

## 医療・健康

### 総合健診



10月1日から11月11日まで、県内9地区13か所において、計21回にわたり、総合健診を実施し、3,657人の町民の方々が受診されました。

この健診結果を基に、メタボリックシンドローム該当者や予備群の方に対し、生活習慣を見直し、生活習慣病の改善・予防に努めていただくよう「特定保健指導」を行ってまいります。

引き続き、町民の健康維持増進に積極的に取り組み、医療費の適正化に努めてまいります。

## 浪江町敬老祝金・100歳賀寿表彰

80歳以上の高齢者の皆さま2,100人の方に対し、浪江町敬老祝金を支給しました。

また、満100歳を迎えられた3

## 教育行政

### 学校教育



10月13日、なみえ創成小・中学校において、浪江にじいろこども園と合同の大運動会を開催しました。

児童・生徒、園児21人のほか、200人を超える地域住民や支援団体の皆さまに参加いただき、盛大な運動会となりました。

また、10月29日には浪江中学校において、文化祭「秋桜祭」を開催しました。全生徒4人ではありますが、堂々とこれまでの取組を発表するな

## 文化財保護



9月8日に北産業団地造成工事に伴う北中谷地遺跡の発掘調査において、北中谷地遺跡の現地説明会を開催しました。

当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、県内外から200人を超える方に参加いただき、説明会を盛況の内に終えることができました。

## 震災伝承



請戸小学校の震災遺構としての保存・活用等を検討するため、地元住民や有識者等で構成する検討委員会を設置し、第1回を10月5日に、第2回を11月28日に開催し、議論いただいております。平成30年度内にご提言をいただく予定となっております。

## その他

### 浪江町 功労者表彰式



11月3日の文化の日に、浪江町地域スポーツセンターにおいて、第46回浪江町功労者表彰式を開催しました。

表彰を受けた方々は、特別功労表彰3人、功労表彰6人1団体、善行表彰10人3団体で、多年にわたり、地方自治や消防防災行政等に尽力された方々、全国各地から浪江町民に対してご支援をくださった方で、賞状および記念品を贈呈し、ご功績をたたえたところです。

### 自治体派遣職員 派遣元訪問

東日本大震災発生以降、全国各地の自治体から復興支援にご協力いただいております、今もなお職員を派遣い

ただいている自治体を表敬訪問しました。

10月12日には神奈川県小田原市、10月16日に千葉県成田市、10月30日に神奈川県および横浜市、川崎市の3自治体、11月13日から14日にかけて、岡山県赤磐市と笠岡市をそれぞれ訪問し、首長等と面会をし、これまでのご支援に対する感謝と、引き続きのご支援をお願いしてまいりました。

### 副町長の選任

宮口前副町長の辞任に伴い空席となっていました。選任の同意をいただきました。

佐藤 良樹 (初宿)

#### 【略歴】

昭和50年福島県立相馬農業高等学校卒。  
昭和51年〜平成30年浪江町職員。

ここから下は広告です。

# ご自宅のお悩みございませんか？

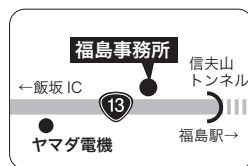
## 修繕 片付け 清掃 etc... ご相談ください!

### 従業員 随時募集中!



誠意と技術で奉仕する  
**東北工業建設株式会社**

本社 〒979-1502 浪江町大字藤橋字原 59-1  
福島事務所 〒960-8252 福島市御山字検田 58-1  
TEL.024-573-4127 FAX.024-573-4128



お問合せは  
担当のおさきまで  
お気軽にお電話下さい。  
**024-573-4127**

